

3/26 五

# 野党・市民集う 福井



パレードする共産・佐藤（最前列左）、民進・山本（右から2人目）、社民・龍田（右端）の各氏ら=24日、福井市

「許すな！共謀罪福井県集会」が24日、福井市フェニックス・プラザで開かれ、約250人が結集しました。県内の共産、民進、社民、緑の4野党と市民団体・個人でつくる共闘組織「Uースふくい」の主催。共謀罪法案を阻止するため「協力して運動を進めていく断固とした決意を表明する」

「許すな！共謀罪福井」としたアピールを採択しました。

花澤和實（かずみ）共同代表は「世論を喚起して廃案にもらっていく以外にない」として決起を呼びかけ、3野党の代表が連帯のあいさつを行いました。坪田康男弁護士が講演を行い、同法案がテロ対策を口実にしながら、目的に「テロ」の文言さえない矛盾を指摘するとともに、「憲法が絶対的に保障する内心の自由を侵害する」と強調しました。

参加者は「共謀罪反対」と訴えながら市中心部をパレードしました。

本正雄・民進党県連代表（県議）は「共謀罪の内容を（広く）伝え、みなさんとともに廃案を追いかむ」、龍田清成・社民県連合代表は「安倍政権を窮地に追いつめるため最後まで頑張りたい」とのべました。笠原一浩・緑の党北陸地域代表から「憲法の下で、こんな法律が認められないことは明らかだ」とのメッセージが寄せられ、紹介されました。